

謹賀新年

平成二十八年丙申



轉法輪

ぼっしんす
法身何くにか在る、
遠からずして
すなわしん
即ち身なり

弘法大師

平成二十八年元旦発行
発行所 犬飼山 轉法輪寺
〒六三七一〇〇七二
奈良県五條市犬飼町一二四
電話〇七四七一二三四〇三
FAX〇七四七一五〇四七
編集発行人 桑山聖淳
印刷所 森本印刷工業所
和・伊都郡かつらぎ町妙寺

新春のお慶びを

申し上げます

おすこやかに新春をお迎えのことと存じます。

昨年は何かとご支援を頂き、大変ありがとうございました。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

初詣にお参り下さい

十二月三十一日(木)

除夜の鐘

年越し護摩供

一月一日(金)・二日(土)

甘酒接待

写真展、今年の一字

一月三日(日) 九時半より

新春護摩法会

お鏡開、ぜんざい接待

津軽三味線コンサート

犬飼山 轉法輪寺

住 職 桑山 慈 紹

お大師さまのお言葉 仏さまはどこに居られるのでしょうか。どこか遠くではなく、実は私の中に居られるのです。心の
中の仏さまを輝かせることで、ささいな事も素晴らしく思え、感謝の仏心が湧いてくるのです。

新年のご挨拶

住職 桑山慈紹



新年あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願い申し上げます。さて、年の暮れに除夜の鐘を聞いて、身も心も新にされたことと存じます。子ども、心の奥底に古い記憶がよみがえることがあります。

某市に住む男性（ここではAさんと呼ぶことにします）は、幸せな家庭に誕生しました。父母と妹、円満に暮らしていたように思えたある日、急に父親がいなくなりました。別の女の人の所へ行ってしまったのです。そしてズーッと帰っ

てきませんでした。母親もAさん達子どもも、次第に心の変化が起こり、優しい父を憎らしい男だと思うようになってしまいました。

時が流れ、Aさんも幸せに結婚して新しい家庭を築いていた時のことです。行方知れずだった父の居場所がわかりました。それは、父親が死亡したという知らせからでした。戸籍上、父は除籍されています。Aさん夫婦は、亡くなったお父さんのことを相談するために来寺されたのでした。

父親は愛人の元で他界し、葬儀後、その家の墓地内に仮埋葬されているとのこと。戸籍を抜けていない実父ですので、私は父親の遺骨を迎えるよう勧めました。その時、Aさんは私の目の前で立ち上がり、大声を出して立腹されました。「あんなクソ親父！なんで迎えに行かないのかんのや！」と。「なに言うてんの、あなたの父親でしょう！」と奥さんはたしなめます。

私は父親の写真を拝見しました。「あなたはネ、親から貰ったものは何もないと言うけれど、この写真あなたにそっくりじゃないか。その体は誰から貰ったんや？」と言い、納得いただいて、父親の遺骨を迎えに行ってもらいました。その

後、遺骨は墓地に納められて供養を繰り返す、やっと親子の縁が戻ったのです。

この世に百点の親はいないでしょう。百点の子どももないでしょう。そういう私も百点ではありません。百点でない者同士が生活しているのです。だからお互い助け合って、支えあって、励ましあって生きゆかねばならないのです。人が失敗を起こすのは、当たり前のことです。自分も失敗を起こすこともあるのです。許すこと、許しあうこと。それ以上責めないことが大切だと思います。

お釈迦様は法句経に「実にこの世においては、怨みに報いるに怨みを以てしたならば、ついに怨みの息むことがない。怨みを捨ててこそ息む。これは永遠の真理である」と説かれています。これは人の道理であるばかりでなく、いま国際的にも意味を持つているお言葉でしょう。また弘法大師は、性霊集に「我を生じ、我を育する父母の恩、天よりも高く地よりも厚し。身を粉にし、命を損ずるとも、いづれの劫にか報ずることを得ん。」と述べておられます。

新年にあたり今一度、自分の命がどうつながって今があるのか。そして未来に何が伝えることが出来るのか考えてみたいものです。

輪 法 轉 (3)

平成二十八年年度 丙申年 ひのえま

方位の吉凶

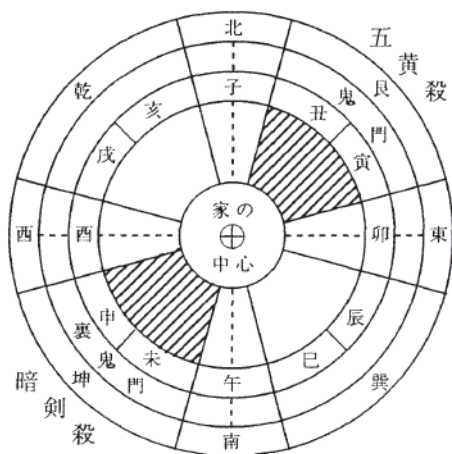
住職 桑山慈紹

新年あけまして

おめでとうございます。

平成二十八年丙申（ひのえさる）は中央に二黒土星が巡っています。よって本宅中心（または自分の寝室）より西南（未申・六十度）に暗剣殺、北東（丑寅・六十度）に五黄殺、歳破神が東北東（寅・三十度）に巡り、老若男女を問わず大凶です。

家相方位盤



よつてこれらの方位に今年、新築・増改築・土木工事・開店・結婚・出産・長期旅行・就職・進学・転宅・契約等々は極力避けるのが賢明でしょう。

暗剣殺とは何か？

暗剣殺とは、読んで字の如く、暗闇から剣が飛び出して来て殺すということ、で、ビックリするような災難が、外から急に鋭く深く激しく降りかかってくる方崇りをいいます。

五黄殺とは何か？

五黄殺とは、強烈な土に戻す作用を起す方崇りで、命を落とすか、財産をゼロにしてしまうこともありま。五黄殺の特徴は、暗剣殺とは対照的でゆつくりとしぶとく何度もあらわれ、向こう五十年間も崇ると恐れられています。

巡り金神

大歳神は、歳破神、大將軍、大金神、姫金神など恐ろしい神様が、四方八方におられます。巡り金神様の方位を注視し、避けられるなら避けるのが賢明

です。しかし、やむをえず工事される場合は、たとえ再建であっても、御祈祷を受けてください。

本年の恵方（あきの方位）

本年の歳徳神は、丙（ひのえ）南で恵方（よい方位）です。二黒土星の人は勿論、八白や五黄の人も厄除に吉方です。新年を恵方位の神仏に祈るも有難い事です。

本来南方には、宝生如来がおられます。ご真言に

おんあらたんのうさんばんばたらくとお唱えし、

南無大師遍照金剛

南無大明神

と唱えて、恵方の徳をいただきます。

方位のお尋ね方法

新年を迎えていろいろ計画されていると存じます

建築などのことでご不明な点がございましたら、家の平面図をグラフ用紙に正確に書き、磁石をふって南北線を記入した図面と、ご家族の生年月日を添えてお尋ねください。

生かせいのおち

【第四十八話】

名誉住職 桑山 聖規



平成二十八年の新春を迎えて、信者皆さまのご健勝とご多幸を、心よりお慶び申し上げます。

申(さる)は、未(ひつじ)と共に大日如来の守り本尊と伝えられています。大日如来の御真言は「オンアピラウンケンソワカ」皆さまご存知の事と思いま

す。これを日本語に訳すと、アピラウンケンが地水火風空、ソワカは成就という意味で、地水火風空の大自然が総てを生かし育てて下さっている、私たちは大日如来の恵みにより生かされていること、この世は大日如来の浄土であるということです。

衆生すべてが佛の子でありますから、お互いに心より尊敬して相互礼拝・相互供養して、この世を争いのない平和な極楽浄土にしていこう、宗祖弘法大師は教えられています。そして生きていく間に仏になる「即身成仏」を説かれたのです。

弘法大師は佛さまに祈るだけではなく、民衆の生活を安定させるために働かれました。唐に留学して得た知識をもって、四国の満濃池を完成させたほか、石炭や石油の利用法を広め、各地に井戸を作られました。私達お大師様の信者は、大師の御心を自身の中に入れて、みなが幸せになるように、一日一善の行を実行することです。それは、

この世界の、地水火風空の恵みを無料無限に受けていることに気づいた感謝から出る行いであります。

当たり前だと思えば不平不満が出てきますが、その恵みを有難く思えば毎日が幸せいっぱいになります。私事で恐縮ですが、昨年数え九十三才を迎えました。病弱であつた私に長寿を与えて下さったのは、心に暗い所のない感謝の生活と、神仏のご加護のお陰だと思つています。信者の皆様もこの記事をお読みくださいましたら、是非に感謝と善行の生活を心がけて頂けるよう、お願い申し上げます。

さて、十二月三十一日大晦日の夜、午後十一時二十五分より百八の鐘を響きます。来寺して一つ打ち、年中の幸せをお祈りください。続いて教堂で年越し滅罪生善の護摩供を修行します。大晦日(三日)まで、境内にてお接待をしてお待ちしております。ご参拝頂ければ大慶です。

合掌

心に宝を―18―

感謝の心を忘れずに

平成二十八年 正月

橋本市

宝形山 地藏寺

井上 覚 善

昨年の盆前に母方の法事で久しぶりに里帰りしてきました。私は仕事上、普段は導師をさせていただいておりませんが、今回は普通に親族の一員としてでしたので、とても新鮮な気持ちで法要に参加させてもらいました。

そして開始時間になりますと、先ず、お導師さまから法話があり、「私たちは、数多くのご先祖さまのご苦労があつてこそ、今、こうして穏やかな生活をさせて頂いております。どうか、感謝の気持ちを新たにしてくださいね。」という旨のお話があり、一同神妙な面持ちになったところで読経が始まりました。

すると、様々な思いが胸をよぎり、（子供の時はとても怖く感じたけど、本当は優しくかったお祖父ちゃんのこと・・・）

（いつも、いつでも、どんな時でも穏やかな微笑みを絶やさず、とてもとても可愛がつてくれ、とっても大好きだったお祖母ちゃんのこと・・・）

（病弱だった為、一度もお嫁に行かず、私の実家のお寺の手伝いに毎日のように来てくれてた伯母さんのこと・・・。そして亡くなった時、神戸の震災直後だったのでお葬式に行つてやれなかったこと・・・。）等々、思い出が次々と走馬灯のように浮かんで消え、自然に目頭が熱くなりました。そして焼香しながら、「命という最高の宝を頂いて有難う御座います。たくさんさんの思い出を有難う。直接の御恩返しは出来なかったけど、今も見守つてくれる、お祖父ちゃんお祖母ちゃん達が喜んでくれるよう、安心してくれるように、自分なりに頑張つて、しっかりと命ある限り生きていきます。」と、心中で告げ、深く頭を垂れ、手を合わせました。

それから程なくして法要終了となり、最年長の伯父が、昔の思い出話をしてくれる事になり、知らなかったお祖父ちゃんやお祖母ちゃんの若い頃の話や、戦前・戦中・戦後の苦労話などがあり、改めて、

「様々な時代を生き抜いて命を繋いでくれた親先祖に、感謝の気持ちを新たにしないで。」と深く胸に刻み、清々しい気持ちで故郷を後にしました。

私たちには、誰しも多くのご先祖さまがいて、いつも見守つてくれてます。新年を迎え気持ちを新たにし、そのご先祖さま方に恥ずかしくない様な生き方をしていきたいものですね。

合掌

にぎり地藏教室
開講中！隔月開催予定
定員10名前後

講師 加藤陽康先生

とっても豊かな表情のお地藏さまが焼きあがっています！土をこねるのは楽しいですよ！



「母の実家にて」

丹生狩場明神祭

去る十月十六日

記念講演「仏たちの誕生」

鳴門長谷寺 祐信 僧正

お釈迦さまから始まった仏教の世界は、どのようにして広がっていったのかを分かりやすくお話しして下さいました。仏さまの功德は、私たちが必要とするところにあらわれて下さるものなんですネ。

永代供養会 去る十二月六日

記念講演「女性と仏教」

帝塚山大学教授

西山厚先生を迎えて

畦田 清 祐

現在は僧侶といえば男性がほとんどで、仏教は男性が主導権を握っているような印象を受けますが、日本最初の出家者は女性であり、長い歴史の中で

女性の祈りが、仏教の興隆に大きな力を発揮してきたことを学ばせていただきました。

天武天皇と持統天皇との薬師寺建立、光明皇后の悲しい物語と八部衆像建立など、当時の人の気持ちを細かく考察して丁寧にお話しくださいました。

大切な人の病氣平癒を祈る、愛する人の冥福を祈るなど、寺院や仏像が建立される時には必ずそこに切実な祈りがあり、またその祈りによって建立された仏さまが、当時の人のみならず、

現代の私たちをも救うことになっているとわかり、寺院や仏像の尊さを再認識することができました。



星祭祈願受付中



一年間の厄除け開運のために
ご祈禱をお申し込み下さい。

平成二十八年

厄除け星祭り祈禱



星祭り結願祭

二月三日(水)十時より

― 厄除けのお札を

お渡しします ―

個人祈禱休み 12月28日～1月4日まで

1月3日(日)

津軽三味線 コンサート

奏者：打土井 拓 ほか



甘酒接待
狩場明神御真影の授与

開運破魔矢

一月一日(金)・二日(土)

初護摩供

般若理趣三昧

除夜の鐘・百八灯明の点火

十二月三十一日(木)夜十二時より



お鏡開き

一月三日(日)午前九時半より

法要

おたのしみ福引き(空くじなし)
篤志者の御奉納により、千名の方に
おたのしみ福引きがあります。
ぜんざい・鏡餅接待

申(さる)年男・年女の方大集合！
身代りお守り授与

白衣・袈裟・腕念珠をつけて九時ま
でにお集まり下さい。奉納された
鏡餅を切っていただきます。



北森久雄写真展

フォトライター 北森久雄
高野の花や、移り変わるふるさとの
写真などを撮り続けている。



揮毫 島岡芳山(五條市)

平成 28 年度 春の四国遍路巡拝バスツアー

伊予(愛媛県)一国参り

44番大宝寺から 75番善通寺まで

日時：平成28年3月29日(火)～4月1日(金)

3泊4日 (予定)

定員 40名

一緒にお四国の旅に出ませんか？

詳細は寺務所までお問い合わせください！



春の巡拝は伊予一国参りを予定しています。春秋一国づつお参りし、二年で満願いたします。

新春の行事

初大師

二月二十一日(木)

十時より

大般若經

六百卷

転読法要



『大般若經典にてお加持いたします』

初不動

二月二十八日(木)

九時より

十二座護摩供

厄除開運・

善願成就の大祈祷



稲荷祭

三月五日(土) 十時より



魅惑のボーカルデュオ
「ハッタンカーサン」



枯れたギターの色々と、二人の
ハーモニーがお堂に響きます！

春彼岸会

三月二十一日



橋本高校邦楽部

春の演奏会

全国大会三年連続入賞の
名門、橋本高校邦楽部の皆
さんが、今年もお寺へ来て
くれます。
若さ溢れる勇壮さと繊細
さを兼ね備えたステージを
お楽しみに！